地域健康福祉論

2 単位 (選択) 3 年 (前期)

田中 俊夫・教授 (併任) / 大学開放実践センター

【授業概要】少子高齢化が進む日本社会にあって，医療費の増加に歯止めをかけ，高齢者の QOL を維持していくことは極めて重要・至難な社会的課題である．この健康福祉に関して，国の施策方針から地域現場における具体的な実践例まで，さまざまなレベルにおける取組を学習し，その成果と課題について考察する．さらに，今後の健康福祉政策のあるべき姿について考えていく．

【キーワード】健康福祉，メタボリックシンドローム，介護予防，運動指針

【授業計画】

1. 地域健康福祉概論
2. アメリカと日本における健康福祉政策
3. 健康福祉を担う指導者
4. メタボリックシンドロームと健康福祉政策
5. 運動基準・運動指針
6. 介護予防・高齢者医療と健康福祉政策
7. 県レベルにおける健康福祉への取り組み
8. 市町村レベルにおける健康福祉への取り組み
9. 民間企業・団体における健康福祉への取り組み
10. 具体的な実践事例 1(生活習慣病と運動疫学)
11. 具体的な実践事例 2(健康づくり運動とカウンセリング支援)
12. 現場の声を聞く 1(メンタルヘルスと運動の効果)
13. 現場の声を聞く 2(ストレスアセスメントと運動指導)
14. 地域健康福祉の未来像を探る
15. まとめ

【成績評価】出席状況 (40%)，小テスト授業内レポート (10%)，期末試験 (50%)

【再試験】しない

【教科書】なし

【授業コンテンツ】http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220354

【連絡先】

⇒ 田中 (088-656-7280, tanaka@cue.tokushima-u.ac.jp) Mail